

科目名	教員名
中国学特殊講義 XIX (言語文化)	郭 偉

## 免許・課程

教職課程

資格課程

## 開講詳細

開講キャンパス	開講時期	曜日	時限	開講学年	単位数
渋谷	集中	スプリングセッション	スプリングセッション	カリキュラムによって異なります。	2

## 講義概要

### 授業のテーマ

時事中国語に関する中～高度な中国語の総合能力の養成

### 授業の内容

中国の政治・経済・社会・文化に関するエッセーで構成されたテキストに沿って授業を進める。テキストは全 15 課よりなるが、第 7 課から第 12 課まで進める予定。2 回に 1 課進むつもりで予習・復習して頂きたい。

### 到達目標

中国語の読解力・聴解力・表現力の向上を図るとともに、中国の政治・経済・社会・文化などに関する時事的な知識を学び、応用的な中国語によるコミュニケーション能力をバランス良く身につける。

### 授業計画

第 1 回	授業紹介・既習事項の復習 【事前学修 分】 【事後学修 30 分】
第 2 回	第 7 課 都市こぼれ話 【事前学修 30 分】 【事後学修 30 分】

<p>第 3 回</p>	<p>第 7 課 都市こぼれ話</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 4 回</p>	<p>第 8 課 西夏の古文書がペールを脱ぐ</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 5 回</p>	<p>第 8 課 西夏の古文書がペールを脱ぐ</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 6 回</p>	<p>第 9 課 ポストコロナを担う屋台経済</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 7 回</p>	<p>第 9 課 ポストコロナを担う屋台経済</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 8 回</p>	<p>まとめ (1)</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 9 回</p>	<p>第 10 課 都市と農村の医療格差が解消</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>
<p>第 10 回</p>	<p>第 10 課 都市と農村の医療格差が解消</p> <p>【事前学修 30 分】</p> <p>【事後学修 30 分】</p>

第 11 回	第 11 課 中国人の声はなぜ大きい？ 【事前学修 30 分】 【事後学修 30 分】
第 12 回	第 11 課 中国人の声はなぜ大きい？ 【事前学修 30 分】 【事後学修 30 分】
第 13 回	第 12 課 隅に追いやられていくお年寄り 【事前学修 30 分】 【事後学修 30 分】
第 14 回	第 12 課 隅に追いやられていくお年寄り 【事前学修 30 分】 【事後学修 30 分】
第 15 回	まとめ (2) 【事前学修 30 分】 【事後学修 分】
授業計画 の説明	授業の進みぐあいによって、スケジュールが変更される場合もある。

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

### 授業時間外の学習方法

テキストの文を音読し、意味の分からない語句については辞書などで調べておく。授業後、同じ文をもう一度音読し、重要な用語や知識を記憶する。余裕があるなら、関連文献を調べる。また、応用実践で作成した中国語の文を整理し、流暢にプレゼンできるようにする。

### 受講に関するアドバイス

参加型の授業であるため、出席、予習、課題への取り組みが重要。  
なお、授業中の練習に Googleform を利用する予定で、ネットにアクセス可能なデバイスを用意する必要がある。

### 成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
平常点	100%	予習の成果、授業内容の習得程度と表現能力の達成度

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

注意事項	平常の学習態度、成果を重視し、授業中の積極性を高く評価する。欠席五回以上で失格。
------	--

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

実務経験に関する記載	
------------	--

履修登録制限・備考	
-----------	--

## 教科書・参考文献等

### 教科書

『時事中国語の教科書 2021 年度版』（三瀆正道・陳祖蓓・古屋順子、朝日出版）  
 出版社 URL <https://text.asahipress.com/chinese/detail.php?id=1766>  
 音声 URL <https://text.asahipress.com/free/player/index.html?bookcode=245344>  
 また必要に応じてプリントを配布する。

### 参考文献

書名	著者名	出版社	備考

### 参考文献コメント

毎回、必ず、中日／日中辞典を持参すること。電子辞書でも可。

### 参考になるウェブページ